

# 目 次

**目次欄（青字）をクリックすると、該当ページに移動します。**

出席委員 .....	25
保健福祉部の予算審査 .....	27
総括質疑及び現地調査箇所の選定 .....	42

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

---

令和4年3月8日（火曜日）

---

出席委員（17名）

委員長	遠藤紀子君	
副委員長	安田知己君	
委員	今野隆之君	渡邊博恵君
	鈴木晴子君	西澤文久君
	伊藤司君	坂本義也君
	羽川喜富君	伊勢英昭君
	木村範雄君	土村秀俊君
	高久時男君	及川智善君
	永野涉君	渡辺幹雄君
	鈴木忠美君	

---

欠席委員（なし）

---

説明のため出席した者

副町長	櫻井やえ子君
企画部	
部長	鎌田功紀君
保健福祉部	
部長	鈴木久仁子君
地域福祉課	
課長	佐々木辰己君
福祉総務係長	和地修君
障がい福祉係長	柏崎裕子君
介護福祉係長	平塚慎也君

健康推進課

課長兼子ども家庭センター所長	小 畑 香 代	君
課長補佐兼健康総務係長	小 原 晶 子	君
親子保健係長	守 山 明 子	君
長生き支援係技術副参事	岩 田 和 子	君
子ども家庭センター技術主幹	柳 祐 子	君

子ども支援課

課 長	谷 津 匡 昭	君
課 長 補 佐 兼子ども企画係長兼子ども給付係長	和 田 あずみ	君
保 育 係 長	洞 口 育 子	君
主 査	太 田 洋 美	君
菅谷台保育所長	青 柳 久美子	君

新型コロナウイルス対策室

室 長	川 口 優	君
コロナウイルス対策係長	千 葉 友 弥	君
ワクチン接種係長	太 田 博 昭	君

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	庄 司 英 夫	君
主 任	青 砥 裕 司	君
主 事	山 中 美 保	君

午後1時26分 開 議

○委員長（遠藤紀子君） それでは、これより予算審査特別委員会を再開いたします。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力願います。

ただいまの出席委員は17名です。

審査に入る前に改めて申し上げます。質疑は1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には、質疑が一巡した後をお願いします。

また、質疑の際は、分かりやすく簡潔にお願いいたします。

さらに、質疑が重複しないよう、できるだけ関連質疑で対応するようにお願いいたします。

それでは、審査日程表により、**保健福祉部の予算審査**を始めます。

所管事項の内容の説明をお願いいたします。保健福祉部長。

○保健福祉部長（鈴木久仁子君） それでは、よろしくをお願いいたします。

令和4年度保健福祉部関係の当初予算について、一般会計予算、介護保険特別会計予算の順に、令和4年度利府町各種会計予算説明書①により御説明いたします。

初めに、一般会計予算の歳入から御説明申し上げます。

7ページをお開きください。

15款1項2目民生費負担金2節児童福祉費負担金7,306万5,000円につきましては、町内保育施設7施設の保育所保育料負担金と菅谷台保育所の延長保育料負担金を計上しております。

8ページをお開きください。

16款1項2目民生使用料2節児童クラブ使用料につきましては、町内児童クラブ7か所の使用料として2,326万3,000円を計上しております。

10ページをお開きください。

17款1項1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金2億4,453万9,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び障害者自立支援給付費に要する事業費の2分の1の負担率で計上しております。3節児童福祉費負担金7億7,617万2,000円につきましては、町内の特定教育・保育施設等19施設と広域利用施設6施設の運営費、子ども・子育て支援新制度に未移行の幼稚園と認可外保育園の保育料、幼稚園の預かり保育や幼児教育無償化事業など記載の事業に対する国からの負担金を計上しております。

11ページを御覧ください。

4節児童手当負担金4億2,159万3,000円につきましては、国の基準に基づきまして計上して

おります。

17款1項2目衛生費国庫負担金2節新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金6,103万7,000円につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種の費用のうち、町が行う接種の直接経費に対する負担金となっており、事業費の10分の10の補助率で計上しております。

12ページをお開きください。

17款2項2目民生費国庫補助金1節社会福祉費補助金561万4,000円につきましては、障害者・障害児の日常生活用具給付事業や移動支援事業など地域生活支援事業に要する事業費の2分の1の補助率で計上しております。2節児童福祉費補助金につきましては、子ども家庭センターで実施しております乳幼児家庭訪問事業や子ども支援課で実施しております放課後児童健全育成事業など、母子保健及び子育て支援に係る事業費補助金として1億1,194万5,000円を計上しております。そのうち保育士等処遇改善臨時特例交付金につきましては、新型コロナウイルス感染症への対応と少子化への対応など最前線で働く保育士や幼稚園教諭、児童クラブ支援員など処遇の改善に対する補助金として事業費の10分の10の補助率で計上しております。

3目衛生費国庫補助金3節新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金5,149万円につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施に向け、会場運営等の接種体制確保に必要な事業費について10分の10の補助率で計上しております。

14ページをお開きください。

18款1項2目民生費県負担金1節社会福祉費負担金、3節児童福祉費負担金、4節児童手当等負担金及び5節低所得者介護保険料軽減負担金につきましては、県からの負担金を計上しております。

16ページをお開きください。

18款2項2目民生費県補助金4節乳幼児医療費補助金6,128万6,000円につきましては、子ども医療費助成事業のうち所得制限を超えない世帯の未就学児童分に対する補助金及び障害者医療費補助金を計上しております。

3目衛生費県補助金2節健康増進事業等補助金につきましては、骨密度検診や健康相談等に係る事業費の3分の2の補助率で計上しております。

続きまして、歳出の主な項目を説明します。

39ページをお開きください。

2款1項11目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費10節需用費の消耗品

110万6,000円のうち、新生児育児支援品支給事業として出生児童の保護者へ贈呈する育児支援品の経費92万1,000円を合わせて計上しております。

18節負担金、補助及び交付金ですが、40ページをお開きください。

新生児臨時特別給付金として新生児1人当たり3万円を給付するため、810万円を計上しております。

50ページをお開きください。

3款1項1目社会福祉総務費につきましては、社会福祉事業に要する経費として、前年度より1,560万3,000円増の1億68万7,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、24節積立金としまして社会福祉基金積立金の増であります。

2目高齢者福祉費につきましては、一般高齢者福祉事業に要する経費として、ひとり暮らし老人等緊急通報業務や敬老祝事業など事業に要する経費を計上しております。

52ページをお開きください。

3目障害者福祉費につきましては、障害福祉事業に要する経費として、前年度より7,086万4,000円増の7億8,564万3,000円を計上しております。主な内容につきましては、障害福祉サービス利用に係る19節扶助費の介護給付費や訓練等給付費及び障害児給付費の各給付を前年度の実績に基づき計上しております。

54ページをお開きください。

5目保健福祉センター管理費につきましては、センター管理運営に要する経費として、前年度より349万8,000円増の3,212万5,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、センター管理業務委託及び機械警備業務委託において、契約期間の満了に伴い新たに委託契約を行うための経費等によるものでございます。

55ページを御覧ください。

7目介護保険事業費につきましては、介護保険運営に要する一般会計分として、前年度より550万3,000円増の3億6,974万9,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、介護給付に係る繰出金の増によるものです。

57ページをお開きください。

3款2項2目児童手当費につきましては、児童手当の給付に要する経費として、前年度より869万6,000円減の6億815万7,000円を計上しております。減額の主な要因は対象児童の減によるものでございます。

4目子ども医療費につきましては、子ども医療費助成に要する経費として、前年度より764万3,000円減の1億8,301万4,000円を計上しております。主な要因といたしましては、助成見込み件数の減によるものでございます。

5目保育所費につきましては、特定教育施設町立菅谷台保育所の運営に要する経費及び民間の認可保育所、認定こども園、小規模保育施設等の保育運営に要する経費として、前年度より9,625万7,000円増の17億1,576万3,000円を計上しております。増額の主な内容につきましては、民設民営による特定教育・保育施設の新設や事業者内保育施設の新設、既存保育所の認定こども園への移行による施設型委託費の増によるものです。

60ページをお開きください。

18節負担金、補助及び交付金の教育・保育施設等第3子以降給食費助成事業につきましては、町単独事業として幼稚園や保育園に在籍している第3子以降の児童の給食費を助成する事業で、対象児童173人を見込み931万2,000円を計上しております。

6目子ども家庭センター費につきましては、職員人件費のほか、児童虐待対応関係経費及び子育て広場関係経費として6,236万円を計上しております。主な内容につきましては、12節委託料、利府町子育て支援事業運営業務委託料として子育て広場「十符っ子」の運営業務及びファミリーサポートセンター事業の2事業を引き続き外部委託とし、効率的な運営を行うとともに、利用者や地域、関係各団体との信頼関係の強化を図りながら、子育て家庭の不安の解消や安心して子育てできる環境づくりを進めてまいります。また、18節負担金、補助及び交付金につきましては、地域子育て支援拠点事業として青山すぎのこ保育園並びにアスク利府保育園内に設置しております子育て広場2か所への補助金として計上しております。

8目児童福祉施設費につきましては、児童館、児童クラブ運営等のために要する経費として、前年度より5,601万1,000円増の2億5,978万2,000円を計上しております。

62ページをお開きください。

増額の主な要因につきましては、12節委託料の（仮称）中央児童センター改修工事实施設計業務委託料や、児童クラブにおきましてお盆期間と年末年始を除く土曜日を新たに開所するために要する業務委託料の増によるものです。

64ページをお開きください。

4款1項1目保健衛生総務費につきましては、職員人件費及び保健事業の事務に要する経費として8,468万6,000円を計上しております。

65ページを御覧ください。

4款1項2目予防費につきましては、予防接種など予防事業に要する経費として、前年度より1億3,871万2,000円減の1億3,897万7,000円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、臨時接種として実施する新型コロナウイルスワクチンの予防接種に要する経費について、令和3年度に新型コロナウイルス対策室が創設されたことにより、経費につきましても新たに11節を創設したことによるものです。

3目健康増進事業につきましては、各種検診に要する経費として、前年度より175万円増の7,111万1,000円を計上しております。

66ページをお開きください。

増額の主な要因といたしましては、12節委託料において、記載の各種検診の検診結果をマイナンバーと連携するためのデータ作成料が委託料に含まれたことによるものです。

5目母子健康費につきましては、妊婦健診や新生児妊産婦訪問指導事業など子育て世代包括支援センターで実施する事業に要する経費として、前年度より513万円増の5,012万3,000円を計上しております。

68ページをお開きください。

増額の主な要因につきましては、12節委託料において新たに新生児聴覚検査助成事業を実施するほか、産後ケア事業においてもデイサービス型を追加し拡充を図ることによるものでございます。

69ページを御覧ください。

4款1項10目新型コロナウイルス感染症ワクチン接種対策費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種の実施に要する経費として1億5,526万6,000円を計上しております。主な内容といたしましては、接種の実施に伴う接種券作成業務やコールセンター業務委託料、予約受付システムの使用料等でございます。

続きまして、介護保険特別会計について御説明申し上げます。

令和4年度利府町各種会計予算説明書②の特別会計25ページをお開き願います。

令和4年度利府町介護保険特別会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億3,553万4,000円で、前年度より4,068万6,000円の増となっております。

初めに、歳入の主な項目を説明いたします。

27ページをお開きください。



1款1項1目第1号被保険者保険料5億8,615万9,000円につきましては、被保険者数を8,937人で現年度分の保険料を見込み、前年度より510万3,000円の増となっております。

以下、歳入につきましては、同様の理由で前年度より増額となっております。

続きまして、歳出の主な項目を説明いたします。

31ページをお開きください。

1款1項1目一般管理費につきましては、職員人件費の減に伴い、前年度より678万4,000円減の2,272万4,000円を計上しております。

33ページをお開きください。

2款1項介護サービス等諸費につきましては、総額で前年度より3,177万9,000円増の19億6,954万8,000円を計上しており、施設介護サービス利用の見込み数の増に伴う介護給付費の増となっております。

34ページをお開きください。

2款4項高額介護サービス費につきましては、総額で前年度より487万6,000円増の5,978万円を計上しております。これらの増額の主な要因といたしましては、サービス利用者の増及び1人当たりの利用料が増となったことによるものです。

続きまして、36ページをお開きください。

5款2項1目一般介護予防事業につきましては1,439万3,000円を計上しており、介護予防を推進するため各種講座の開催に要する経費や地域における居場所づくり活動を支援するための事業費を計上しております。

5款3項1目包括的支援事業につきましては、地域包括支援センター運営業務、生活支援コーディネーター業務、相談支援業務、サービスコーディネート業務を一体的に行い高齢者支援の充実を図るため、令和2年度においては4目に置いておりました生活支援体制整備事業費を1目の包括的支援事業費に組み替えたことにより、前年度より903万5,000円増の4,430万4,000円を計上しております。

37ページを御覧ください。

4目認知症総合支援事業費につきましては、職員人件費及び認知症支援事業に要する経費として1,872万5,000円を計上しております。

以上が介護保険特別会計の予算でございます。

これで保健福祉部所管の当初予算の説明を終わります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

げます。

○委員長（遠藤紀子君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。13番及川委員。

○及川智善委員 それでは、3点お尋ねします。

まず1点目です。39ページ。これは、前回、議員全員協議会で渡された資料の中のものだと思うんですけども、その中でNo.7の高齢者の実施事業ということで新年度分として内容説明がありましたけれども、高齢者を対象とした文化芸術鑑賞会を開催するというので、健康推進課のほうで計画、77万2,000円されていますけれども、この内容と実施時期、あとどのような回数というかですね。対象は高齢者ということになっているんですけども、高齢者は一般的に65歳以上からなんですけれども、何歳以上の人を対象にしているか教えてください。

それから、52ページから53ページにかけて、3款1項3目、障害福祉の部分の19節扶助費です。これは障害福祉全体としては7,086万4,000円ということでかなりの金額が増えていますけれども、全体としてなぜこれだけ増えたのかということで、1節から18節は義務的経費なのでここではないと思うんです。若干はあるのかなと思うんですけども。要するに、19節の扶助費の中で事業内容の新規のもの、あるいは例年と違って増えているんだよというようなものがあったら教えてください。

それから、55ページの健康推進課のほうの委託料、3款1目の12節ですね。落ち葉拾い業務委託ということと保健福祉ののり面の除草業務委託ということで、それぞれ事業別に計上していますけれども、これはこの内容をまず説明していただきたいと思います。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 当局、答弁をお願いします。1点目です。健康推進課長。

○健康推進課長兼子ども家庭センター所長（小畑香代君） それでは、私のほうから1点目と3点目をまとめてお答えさせていただきます。

まず最初に高齢者のつどいのほうですが、39ページのもので、こちらのほうなんですけど、新型コロナウイルスの感染拡大で高齢者が外出がなかなかできないというところで、閉じ籠もっている期間が長く続いているというところがありましたので、そちらのほうの認知機能とか運動機能の低下の原因となることから予防するために、どちらかといえば少しお楽しみというか外出の機会を設けたいということで文化芸術鑑賞会を企画しております。時期につきましては令和4年の8月ぐらいを予定しております、会場はリフノスのほうで開催したいと考えております、回数につきましては、現在のところ1日1回というところで予定はしております。

内容につきましては、現段階では、三味線の演奏会とかそういう文化芸術的なところの演者さんをお呼びしての開催にしたいと考えております。対象になります方につきましては、65歳以上の高齢者の方を対象にしたいと考えております。これをきっかけに皆さん少し外出する機会とかが増えればいいのかと考えて開催する予定となっております。

続きまして、3点目のセンター管理の部分の落ち葉拾いのものとのり面の除草作業の委託でございますが、落ち葉拾いの業務につきましては、秋口なんですけれども、センターの敷地内の落ち葉拾いを委託するものなんです、こちらのほうは、地域活動支援センター内に障害者の施設がありますので、そちらの施設にお願いする予定となっております。また、センターの民家があるほうののり面に草がかなり丈が高く生えてしまいますので、年2回の予定でシルバー人材センターさんをお願いするようとなっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 2点目をお願いします。障がい福祉係長。

○障がい福祉係長（柏崎裕子君） 2点目についてお答えいたします。

障害福祉費の主な増額の理由ですけれども、新たな事業というのは特に実施する予定はございません。既存の事業の中で、介護給付費、訓練等給付費、障害児給付費、こちらの事業の実際の利用者の人数が増えたことや1人当たりの利用日数が増えたことによる増額となっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 再質問、及川委員。

○及川智善委員 先ほどの39ページの高齢者のつどいなんですけれども、事業として77万2,000円ということで、施設の借方が11万5,000円なんですけれども、件数は別にして中身ですね。8月くらいということですね。65歳以上、今、結構65歳以上でも若いので、対象がちょっと、三味線の演奏というのはどうなのかなと。65歳というと例えばジャズとかもっと明るいというか。三味線というと高齢の方の特定な人ということが割と多いと思うんですよ。この目的からいうと外出してもらいたいということなので、やっぱり興味のある芸術鑑賞ということになると思うんです。今申し上げましたように三味線の演奏というと、三味線に興味のある人、あるいは御高齢の、一般的にですよ、御高齢の人が多いので、65歳以上というといろんな、もし音楽的なものにターゲットを絞るとするならば、もっと近代的な音楽、演奏というと、いろいろ考えられてやっていると思うんですけれども、まだこれからやるんでしょから、ちょっとその辺考慮されてはいかかなと思って一応提言させていただきます。

それから2点目は、ページ数で言うと扶助費のほうの53ページのほうなんですけれども、そ

うすると人数が増えているということは、単に、今申し上げましたように、聞きましたけれども、介護される方が増えているということで、障害の方が増えているということとイコールということでもよろしいんですかね。年々増えて、特に今年はそういう傾向に若干あるということでも認識してよろしいのかどうか、その点確認したいと思います。

それからもう一点、最後、また健康推進課のほうですね。落ち葉拾いと保健福祉センターのほうなんですけれども、玄関の出口のところは秋から初冬にかけて落ち葉が落ちてくるということで、施設のほうにお願い……青葉台デイサービスですか。じゃなくて施設。除草業務のほうはシルバー人材センターということなんですけれども、これは落ち葉拾いのほうも軽作業だと思うんですよ。別々の業者に依頼するかどうか、これから検討するんだと思うんですけれども、この件に関しても、2つの事業があるんですけれども、落ち葉拾いとのり面の除草業務を同じ事業にできないかなと思ひまして、シルバー人材センターにお願いするのであればシルバー人材センター。別々に契約を締結するとそれぞれ経費がかさむものですから、その点もしできるのであればどうかと思ひましてお聞きいたします。

○委員長（遠藤紀子君） 答弁願います。健康推進課長。

○健康推進課長兼子ども家庭センター所長（小畑香代君） 再質問にお答えいたします。

高齢者のつどいに関しましては現段階の予定でございましたので、委員の御指摘というか御提案、御提言ありがとうございました。内容についてはまた担当のほうと詰めていきたいと考えております。

3点目の落ち葉拾いとのり面の除草作業なんですけど、落ち葉拾いのほうは障害者の施設のほうのセンターの中にある地域活動支援センター、地活と言われているところをお願いするもので、除草作業はシルバー人材センターさんをお願いするものです。こちらどちらも別々のところ、本来であれば1か所にといいところもありますが、障害者、高齢者、それぞれの雇用とか社会参加を促進するためということで健康推進課からお願いする事業として考えております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 2点目、障がい福祉係長。

○障がい福祉係長（柏崎裕子君） 2点目の再質問にお答えいたします。

こちらの人数の増加なんですけれども、今年度、支援学校の高等部を卒業するお子さんが合計7名おりまして、その方たちが新しくサービスを利用し始めるということと、あと、精神障害の方が特に多いんですけれども、一度働いていた方が病気になって、そこからまた社会復帰

をするための訓練というところでサービスを利用する方が増えております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 及川委員。

○及川智善委員 分かりました。健康推進課のほうですね、ぜひ、65歳以上ということなので、一般の人がどなたでも鑑賞できるような受皿をつくっていただきたいなと思います。

それから、落ち葉拾いについては、福祉業務のほうに、事業所のほうに、ひまわりですか、あそこのほうにそういうことをやらせるという意味が分かりましたので、それについても結構でございます。

3点目の障害者の方の増員の要因が支援学校7名の方があるということなんですけれども、その支援学校の方についての7名というのは訓練の給付ということでよろしいんですね。介護ですか。中身をもうちょっと詳しく教えてください。

○委員長（遠藤紀子君） 答弁願います。障がい福祉係長。

○障がい福祉係長（柏崎裕子君） 介護給付費と訓練等給付費とその方の障害の程度によって使うサービスが異なりますので、それぞれ新卒の子たちが使うサービスとなっております。

○委員長（遠藤紀子君） ほかに質疑ありませんか。2番渡邊博恵委員。

○渡邊博恵委員 では、3点ほど質問させていただきます。

51ページ、12節の委託料なんですけれども、去年は敬老記念品作成業務委託料が入ってなくて今年よりも100万円少なかったんですけれども、これで増えたのかどうか、それとも、ひとり暮らし老人等緊急通報業務委託料の金額が増えた理由ですね、そちらのほうをお願いいたします。

それから、65ページの予防費の1節の報酬なんです、予防接種事故対策委員会委員2名分、会計年度任用職員3名分ということで、こちらのほうは去年はすごい金額だったのでその違いですね。3名に減った理由と、それから、予防接種事故対策委員会というのがコロナワクチンの別な、69ページにもありまして、そちらのほうにも予防接種事故対策委員会委員2名があって単価が違うので、そちらのほうをお答えいただければと思います。よろしくをお願いいたします。

○委員長（遠藤紀子君） 2点でよろしいですか。（「2点です。すみません」の声あり）当局  
お願いいたします。健康推進課長。

○健康推進課長兼子ども家庭センター所長（小畑香代君） それでは、お答えいたします。

敬老記念品の作成業務委託料のところでございます。こちらの委託料、やっぱり増額になり

ましたのが、委員御指摘のとおり、こちらのほうの敬老記念品の作成業務委託料が増えたためでございます。こちらのほうなんです、いつもですとタオルをお渡ししてというところになっているんですが、小学生からのメッセージを職員のほうで印刷していて、それを袋詰めするような形にしていたんですが、タオルとか記念品、タオルになるかどうかあれなんですけれども、来年度の記念品と一緒にこちらのほうも印刷してきれいにラッピング、封入封緘するところが敬老者の皆様に記念品をお渡しするときが一番いい方法かなと思ひまして、こちらのほうの新たに委託するような事業を設けました。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 2点目、介護福祉係長。

○介護福祉係長（平塚慎也君） 1点目の補足をさせていただきます。委託料なんですけれども、先ほど健康推進課長が言ったとおり増えている部分と、あとひとり暮らしの老人緊急通報業務委託のほうでも、現在、今年度までの委託期間ですね、5年間だったんですけれども、そちらのほうで今年度で終わりました、令和4年度から新たに入札により委託契約するに当たりまして再度設計しまして予算計上しておりますので、増額となっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 65ページの。健康総務係長。

○課長補佐兼健康総務係長（小原晶子君） お答えいたします。

予防費の報酬の大幅な減額についてなんです、令和3年度につきましては、新型コロナワクチン接種体制の確保業務ということで、会計年度任用職員、事務職が4名、あとは看護師が4名の報酬が入っておりました。ただ、令和4年度につきましては目が別になっておりますので、そのための減額となっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 渡邊博恵委員。

○渡邊博恵委員 それでは、51ページの委託料のほうなんです、ひとり暮らし老人等緊急通報業務ということで、そちらのほうは、結構年齢が皆さん高齢化で高くなっていると思うんですが、その利用率と、布団クリーニングサービス業務はどれぐらい利用されているかお願いいたします。

それから、予防接種事故対策委員会委員ということで先ほど、単価が65ページと69ページ違うので、どのような方が委員になってどのような働きをなさっているのか、お願いいたします。

○委員長（遠藤紀子君） それではお願いいたします。介護福祉係長。

○介護福祉係長（平塚慎也君） まず、1点目の再質問にお答えいたします。

緊急通報システムの利用者については、2月末現在で40名の利用があります。続きまして、

布団クリーニングサービスのほうなんですけれども、今現在、登録者の方は68名ほどいらっしゃいます。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 2点目、ワクチン接種係長。

○ワクチン接種係長（太田博昭君） それでは、お答え申し上げます。

69ページの予防接種事故対策委員会委員の2名分につきましては、予防接種事故対策委員会の設置条例のほうにつきまして、委員5名のうち2名の塩釜医師会の会員の方の分というところで1人当たり6,600円を計上しているところでございます。予算の違いにつきましては、回数の増減の違いというふうに理解してもらいたいと思います。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） よろしいですか。渡邊博恵委員。

○渡邊博恵委員 対策ということで、どのような業務内容というか、対策ですよ。事故対策ということで事故対応とは違うんでしょうか。

○委員長（遠藤紀子君） 健康推進課長。

○健康推進課長兼子ども家庭センター所長（小畑香代君） それでは、私のほうからお答えいたします。

予防接種事故対策委員会、健康推進課で持っている分は定期予防接種のものです。コロナ対策室のほうは臨時の予防接種のコロナワクチン接種のほうです。ただ、この予防接種事故対策委員会を設置しないといけないというものは予防接種法で決まっております。こちらは本来であれば事故があったときに開催することになっております。ただ、本町といたしましては、塩釜医師会の医師の方々からの御助言もありまして、通常の予防接種の状況も報告してほしいという委員の先生方からのお話がありましたので、通常の予防接種の状況だったり、あとは事故とかあったときの報告をさせていただいて審議していただくような委員会となっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） ほかに質疑ありませんか。3番鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 それでは、3点お伺いいたします。

52ページお願いいたします。3款1項2目高齢者福祉費の19節扶助費、敬老祝金についてでございますが、令和2年度の9月の決算の際に、2年後には団塊の世代の方が対象になる見直しに対して質問しているんですけれども、それに対して町のほうの回答が検討するというものであります。その検討した内容をお伺いしたいと思います。

2点目、57ページお願いします。3款2項5目保育所費全体なんですけれども、これは保育

所の運営についてちょっとお伺いしたいんですが、使用済みのおむつの件でございます。保育所、保育……それぞれお金を取ったり、あとただだったり、またお持ち帰りだったりしているところがございます。町としてどのようにその件考えているのか、お伺いいたします。

3点目、66ページお願いします。4款1項3目健康増進事業費の19節扶助費、今回、骨髓バンクドナー助成事業ということで計上されております。事業の内容をお伺いいたします。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 3点目です。1点目から。健康推進課長。

○健康推進課長兼子ども家庭センター所長（小畑香代君） お答えいたします。

敬老祝金の1点目についてお答えいたします。決算のほうで敬老祝金の見直しということで検討してくださいというお話もあって、検討させていただきました。令和4年度に関しましては、全体といたしまして前年比だと41人ぐらい少なく、予算のほうも少し少なくなっております。令和5年度以降、6年度あたりからかなり多く増えてくるような予定となっておりますので、来年度、再来年度に向けて再度検討させていただきまして、金額でしたりとか内容というところも検討させていただきまして、敬老者の皆さんとか町民の皆さんが納得いくような形でまた見直しをかけていきたいと考えております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 2点目、お願いいたします。子ども支援課長。

○子ども支援課長（谷津匡昭君） お答え申し上げます。

使用済みおむつの関係でございますが、こちらにつきまして、菅谷台保育所につきましては今年度から自園での廃棄というのを行っております。また、私立の保育園関係につきましては、それぞれ自園での廃棄もしくはお持ち帰りというのが保護者との話合いの中で決定をした上で行っているところではございますが、各園、系列であっても取扱いのほうは違っていたりとかしますので、今後、施設長会議等でそちらのほうを議題として上げながら、今後の取扱いですね、適切なものとなるように進めていきたいと思っております。

○委員長（遠藤紀子君） 3点目、健康総務係長。

○課長補佐兼健康総務係長（小原晶子君） 3点目についてお答えいたします。

宮城県骨髓バンクドナー助成事業補助金のほうを活用しまして、骨髓移植の推進を図るため、骨髓バンクを介して骨髓等を提供した者または提供に係る最終同意を行った後に骨髓等の提供が中止された方を対象に、骨髓の提供に係る入院、通院または面談を対象として、1日2万円、7日間を上限として助成を行うものです。以上です。



○委員長（遠藤紀子君） 再質問、鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 敬老祝金のほうは分かりました。

2点目の保育所のおむつの件でございますが、これから施設長と共に検討していくということございました。やはり町の保育所である菅谷台保育所は令和3年度よりゼロ円にして、自園で廃棄しているという部分は本当に素晴らしいなと思っております。中には200円、300円、500円、500円ではちょっと、本当に御負担をおかけしているんじゃないかなと思っております。なので、しっかりとお話し合いをしていただきたく思いますので、再度お伺いいたします。

それから、骨髓バンクのほうでございますけれども、こちら本当に大事な事業であると思っております。県内約16ぐらいの自治体がやられているのかなと思っておりますが、やはりこれは多くの皆様に知っていただいて登録していただくことがまず大事な、その中でじゃあ頑張ってみようと思う人に対してのこれは補助なんですけれども、その最初の部分の登録という部分も大事なのかなと思っております。協会ですかね、と協力して町内でも、何かここ数か月はやっていないようなんですけれども、町内でも登録会というものを誘致したらどうかなと思っておりますけれども、その辺お伺いいたします。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） それでは、2点目答弁願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（谷津匡昭君） お答え申し上げます。

まず、各園ごとの状況をこちらのほうで照会をかけまして、その内容を取りまとめたものを各園に情報提供するなどしまして町内での状況を把握していただいた上で、各園のそれぞれの対応を検討していただけるように進めてまいりたいと思います。

○委員長（遠藤紀子君） 健康総務係長。

○課長補佐兼健康総務係長（小原晶子君） お答えいたします。

こちらの骨髓バンクドナー助成事業の周知につきましては、早ければ4月、5月に町内の回覧のほうで周知または広報とホームページ等で周知を図っていきたいと思っております。また、登録会等なんですけど、まず町内の事業所さん、あとは役場のほうでも献血を行っておりますので、その際に積極的に紹介していきたく思っております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 骨髓バンクのほうですね、お願いしたいと思うんですけれども、1点だけお願いというか提案なんですけど、十符の里フェスティバルなど今回町のほうでお祭りを何回か考えているところであります。そういうところでもしっかりとPRしていただきたいなと思ってお

りまして、この推進月間が10月になっております。ちょうどお祭りの時期と重なるのかなと思っておりますので、その辺も検討していただきたいと思います。最後、すみません、お伺いたします。

○委員長（遠藤紀子君） 答弁願います。健康総務係長。

○課長補佐兼健康総務係長（小原晶子君） お答えいたします。

そちらのほうも併せて前向きに検討していきたいと思います。

○委員長（遠藤紀子君） ほかに質疑ありませんか。13番及川委員。

○及川智善委員 1点お願いします。

60ページの3款2項の18節の補助金です。保育士と幼稚園教諭等の処遇改善臨時特例事業ということで、2,356万1,000円計上されておりますけれども、これは国の政策だと思われるんですけども。低賃金ということで、エッセンシャルワーカーで随分安いんじゃないかということで、一応標準ターゲットにされてはいますが、利府町の保育士・幼稚園教諭ということで、業務の範囲、対象人員と、金額のアップ、2,356万1,000円ありますけれども、1人頭どれくらいの単価になるのか、それから実施時期は多分改定時期ということで4月と思われるんですけども、その辺の確認をさせてください。

○委員長（遠藤紀子君） 答弁願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（谷津匡昭君） お答え申し上げます。

まず、収入のほうにつきましては、3%程度、月額にしまして9,000円を引き上げるための措置を令和4年2月から実施することとしております。2月から。今回は国の全額補助により行われる事業でありまして、対象は2月から9月までとなっております。それ以降につきましては、国の令和4年度当初予算時に検討しまして、公定価格への算入を行いまして継続的に収入をアップさせていくということになっております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 再質問、及川委員。

○及川智善委員 3%で9,000円って結構安い、低賃金だなと思いますけれども、これについては利府町としては国の補助金だけで上乘せという考え方ということでよろしいんですかね。今言った4月に改めてという話がありましたけれども、そのときは、2月からもうやっているということでもよろしいんですね。4年の2月からというさっきお答えだったんですけども、4月からの賃金アップの話についてはどのような骨子になるか、構成、金額とか対象とかもし変更になるのであれば教えていただきたいです。

○委員長（遠藤紀子君） 子ども支援課長。

○子ども支援課長（谷津匡昭君） お答え申し上げます。

まず、こちらですね、対象が令和4年2月から9月までまず実施するという国の方針から来ております。2月から3月、こちらに関しましては3月補正予算のほうに計上させていただいております。改めて4月から9月までの分につきましては当初予算のほうに計上しております。今後、国の方針が決まり次第、10月以降の分に関しましては補正対応で行っていくことになるかと思っております。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） 及川委員、では再々質問をお願いします。

○及川智善委員 さっき言ったんですけれども、うちとして要するに政府で出す分だけじゃなくて上乗せして、何%でも利府町としてこの方たちの低賃金の部分を援助してあげると、そういうお考えはないのかどうかお伺いします。

○委員長（遠藤紀子君） 子ども支援課長。

○子ども支援課長（谷津匡昭君） お答え申し上げます。

まず、国の方針の実施事業ということで、10分の10の補助で行いますということで方針が出ておりますので、こちらに沿った形で実施をしたいと考えております。10月以降に関しましては、改めて国の方針が出ますので、そちらのほうも参考としながら今後検討していきたいと思っておりますが、現段階では町独自の事業として実施することは考えておりません。以上です。

○委員長（遠藤紀子君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（遠藤紀子君） 質疑がありませんので、以上で保健福祉部の予算審査を終わります。

当局は退席願います。御苦労さまでした。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。質疑あるいは御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（遠藤紀子君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会いたします。

なお、明日は午前9時30分から特別委員会を再開しますので、御参集お願いいたします。

御苦労さまでした。

午後2時27分 散会

上記会議の経過は、事務局長庄司英夫が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和4年3月8日

委員 長